

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)	◎	商店街（代表者）	お客様の様子	・客の様子が良いように見える。
	○	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・少し猛暑が落ち着き、客が外出するようになった。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・観光客は着実に増えている。心配していた観光バスの動きも、3か月前と比べると随分増えて目立つようになってきた。
	○	スーパー（店員）	単価の動き	・米の売価は上がり続けているが購入量が減らず、結果的には売上に大きく貢献している。
	○	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・米の値段は相変わらず高いが、パン等の価格がかなり下がっているため購買量は減っていない。値上げについても企業努力で補っている部分があり、3か月前と比べて販売量は増えている。
	○	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・例年と比べ暑い日が多く、秋というより晩夏によく売れる商品が好調である。飲料や酒類が特によく売れており、行楽向けのおにぎり、弁当、サンドイッチや菓子などの売上が高い。
	○	コンビニ（店長）	来客数の動き	・物価高に慣れてきたのか、やや上向き傾向にみえる。
	○	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数が増えて、おにぎりなどのカテゴリーが伸長している。
	○	コンビニ（商品企画担当）	単価の動き	・ペットボトル飲料の値上げがあったものの、残暑が長引き全体的に気温が高いことから、値上げ分の単価上昇がみられる。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	来客数の動き	・来客数は引き続き堅調に推移している。
	○	観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・想定よりは良くなかったが、前年と比べて業績が回復している。
	○	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・宿泊は週末を中心に好調だが、平日はやや悪い。宴会は順調だが、レストランは夜が弱い。
	○	タクシー運転手	来客数の動き	・依然として朝晩のタクシー利用客が多い。昼間は少なくなっている。
	○	タクシー運転手	お客様の様子	・初秋になって気候も過ごしやすくなり、客の動きが良くなりつつある。日中は余り変わらないが、夜の客は動きが良くなっている。
	○	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・引っ越しに伴う解約増加はあるものの、新規契約数は前月並みに推移しており、全体の契約数も増加傾向である。
	○	テーマパーク（職員）	お客様の様子	・紅葉の時期になり、インバウンドや国内の団体客も増えている。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街への来客数は多いが、販売量の減少により売上は横ばいである。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・物価が上昇し続けており、生活必需品の購入で家計は精一杯である。余暇やし好品にまわせる金はほとんどない消費者が多く、し好品や耐久消費財を主商品としている店舗は苦しい状況が続いている。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・来客数は特に変化ない。8割は常連客で、新しく増えることは余り望めない。
	□	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店においては、特にアルコール飲料の販売が伸びていない。
□	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・10月は新しい半期のスタートだが、衆議院選挙や物価上昇で個人の消費も法人の経費も慎重になっている。客はしっかり考えて金を使う様子である。	
□	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	販売量の動き	・暑さが和らぎ客足は戻ってきているが、相変わらず購買意欲は低い。	

<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	単価の動き	・朝晩の寒暖差があり、昼間は新商品のチェックに来る若い来店客が多いが、試着のみで買上には至らない。年配客の来店もあるが、70代以上に向けた商品の用意がないため売上には結び付かない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・大変暑い日が続く、秋物衣料を中心とした動きが非常に悪い。インバウンドについては、10月上旬の国慶節関連で来店は目立つものの、売上額としては前年を下回る見込みである。様々な商品が値上がりするなか、菓子や生鮮品を中心に買い控えが目立ち、売上を落としている。今月は衆議院選挙もあり、なかなか消費意欲の高まりが感じられなかったが、外商顧客を中心とした高額品需要は、株高もあり好調を維持している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・物価高のため来店客は減少しているが、必要な物や欲しい物は金額に関係なく購入している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・前月までと大きく変わっている部分は特にない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・暑い日が続く秋物の動きが厳しかったが、ここに来てようやく動きが出てきている。ただし、インバウンドによる売上の伸びが、ここ最近では減速している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業企画担当）	単価の動き	・新規の特選ブランド品は好調だが、全体的に好景気とは言い難い。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	お客様の様子	・中高単価商品が稼働し客の購入マインドは高い。懸念としては、回遊客が少ないため振り客の購入率がなかなか伸びない。インバウンドは国慶節で月前半の売上を大きくけん引した。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	販売量の動き	・猛暑の影響で野菜や果物が安定して仕入れできず、増益が困難な状況にある。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	販売量の動き	・商品の値上げが続く1品単価は上がったものの、買上点数は増えないため、売上が伸びていない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	単価の動き	・前月は残暑の影響がみられたが、秋らしい気温に戻り、あっさり系の商品から、肉など単価が高い商品が売れ始めている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・来客数は増えているが、売上につながっていない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・好調は続いている。駅弁イベントは1回目も2回目も好調だった。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・前月と状況は変わらず、好調を維持している。10月は台風など悪天候の影響を受けることもなく、人の動きも活発であった。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・分かりやすく値引きをしないと、前年以上には物が売れない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数は前年比1割増加で推移している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（本部管理担当）	来客数の動き	・売上は前年比103%である。最低賃金の引上げによる人件費圧迫や水道光熱費の高騰など経費のリスクを抱えているものの、売上は高水準で推移する状況が続いている。ただし、来客数が増えているのではなく、商品値上げによる客単価上昇が売上を支えているため、市場が活性化しているとは言い難い。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（売場担当）	お客様の様子	・客に勧めても追加で購入することはなく、最低限の物と最低限の費用に抑える傾向にある。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（売場担当）	単価の動き	・単価の動きが余り良くない。前年はコロナ禍が明けて葬儀向け需要で礼服がかなり売れたため、今年の予算はかなり高いが、前年のようにはいかない。天候の影響でスーツを着ない人が多くなってきたのかもしれないが、単価の動きが悪い。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・全体的に物価が上がり、車の出費はできるだけ抑えたいという気持ちがうかがえる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・ここ最近では客の動きがほとんど変わらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・日頃の買物について客と話すなかで、お買い得な商品というワードがよく出てくる。自分の買いたい物を選ぶときも割高な物は選ばない賢い消費行動が見て取れるため、景気が上向いているとは考えられない。

<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・個人客は貧富の格差が日増しに大きくなっているため、景気の良い悪いには個人差がある。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・新型車の予約注文が始まり多少は注文が入っているものの、十分とはいえない。店頭で新型車の現物が入ってくると違うかもしれないが、3か月前と比べて販売量も来客数も大きくは変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [貴金属] (経営者)	来客数の動き	・衆議院選挙、米国大統領選挙、円安や物価高騰の影響で客の購買意欲が減退しており、来客数が減少している。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン (経営企画)	来客数の動き	・平日夜の営業が苦戦しているものの、全体では前年並みで推移している。高価格帯メニューへの財布のひもが固い。一方、祝い事などで週末は好調に推移している。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (従業員)	来客数の動き	・全体的に値上げしても来客数は余り変わらないが、客単価は下がっている。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [ワイン輸入] (経営企画担当)	単価の動き	・9月からの価格改定で値上げを実施した。今回の値上げでは仮需要も多く発生し、10月以降はその分の減少を予想していたが、売上額としては前年比プラス2%程度と良かった。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル (営業担当)	来客数の動き	・円安の影響で宿泊が好調に推移し、法人客の宴会やレストランも引き続き高い状態で推移している。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店 (経営者)	販売量の動き	・客の動きはあるが、まだ少ない。物価高騰が影響している。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店 (営業担当)	単価の動き	・今は宿泊代金の多くが価格変動型のダイナミックプライスとなっており、価格で需要と供給のバランスを取っている。秋口のハイシーズンでの3連休などは、通常の3~4倍の宿泊代金でも予約が入る。インバウンドが宿泊価格を押し上げているといっても過言ではないが、日本人客もその価格で宿泊するということは、懐に余裕がある客がいるということである。
<input type="checkbox"/>	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・世界情勢の影響で商材のライセンス料や価格が大幅に高騰している。予算化の時期だが見通しを立てにくく、システムの見直しを考える客も多い。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク職員 (総務担当)	来客数の動き	・暑さが和らぎレジャーでの外出が増えてきた印象を受ける。10月は各種イベント開催の効果もあり、前年よりも集客がやや伸びたが、目標値には届いていない。
<input type="checkbox"/>	観光名所 (案内係)	お客様の様子	・当地の繁華街には、1~2人の少人数ではあるが全国から旅行で来る若者が増えており、良い傾向と考える。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場 (支配人)	来客数の動き	・入場者数が今年は夏場以降、増えず不調である。今月は比較的天候に恵まれたが、伸びていない。ゴルフシーズンだが予想以上に増えず、景気はやや悪い。
<input type="checkbox"/>	パチンコ店 (経営者)	来客数の動き	・夕方以降は客の来店が少ない。例年この時期は売上、来客数共に1年を通して少なくなる。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 [鉄道会社] (職員)	来客数の動き	・通勤通学以外の乗客数が伸びていない。
<input type="checkbox"/>	美顔美容室 (経営者)	販売量の動き	・セット商品の買上とキャンペーンが始まった商品の販売が良い。
<input type="checkbox"/>	美容室 (経営者)	お客様の様子	・客との会話のなかで物価上昇などについて話すことがかなり多い。
<input type="checkbox"/>	美容室 (経営者)	お客様の様子	・やはり物価が高い。米の値段も急が上がっており、物価上昇が落ち着かないと客の来店は減る。
<input type="checkbox"/>	設計事務所 (経営者)	来客数の動き	・案件数が少ないままの状態が続いている。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・販売量は横ばいが続いている。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・来場者数が例年より少なく、契約も低調である。
<input type="checkbox"/>	その他住宅 [展示場] (従業員)	来客数の動き	・暑さも落ち着き客の動員が戻ってきたが、まだ好調とまではいえない。

□	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	単価の動き	・原価が高騰するばかりで利益が上がらない。
▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・スーパーなどで商品の売行きをみると、高い物は余り売れず、野菜やその他の商品も異常な勢いで値段が上がっている状況で、買い控えとなっている。
▲	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・来客数は前年を上回るものの、平年以上の気温が続いている影響から秋冬向け重衣料の販売が振るわず、売上は前年比、3か月前比共にやや下回っている。
▲	スーパー（店長）	販売量の動き	・米が高くなり、買い控えが更に進んでいる。
▲	スーパー（店員）	販売量の動き	・何もかもが高くなり過ぎである。
▲	スーパー（総務）	販売量の動き	・来客数、販売量共に毎月少しずつ減少している。
▲	コンビニ（店長）	お客様の様子	・悪い状態から変化がない。客からは、有給休暇の消化と残業抑制で実質所得が減少しているという苦しい声をよく聞く。僅かばかりのぜいたくも許されない人が多くいる。
▲	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・客のまとめ買いが少なく、単価が低かった。
▲	家電量販店（店員）	来客数の動き	・キャンペーンを行っても反応が低い。客と話をしても購買意欲が余り感じられない。
▲	家電量販店（フランチャイズ経営者）	来客数の動き	・今月は例年に比べ1割ほど来客数が少ない。元々10月は閑散期に当たり来客数、客単価共に下落傾向である。今夏が猛暑でエアコンがよく売れたため、その反動が出てきている。
▲	家電量販店（営業担当）	単価の動き	・玩具類の動きが良く来客数は伸びたが、白物、黒物共に家電が絶不調で単価が著しく低かった。エアコンは夏が終わってもそれなりに動いたが、家電が総じて悪かった。
▲	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・以前よりも生産台数は回復しているが、新車の注文数が計画割れし、前年比でも95%ほどで推移している。ガソリン価格は高値ながら安定しているが、来客数も前年割れし、日常的な営業に秋風が吹き始めたような落ち込み方である。
▲	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・前年と比較して販売台数が大幅に減少している。販売可能な車種に限られ人気車種のほとんどが販売停止になっているため、売りたいくても販売できない状況が続いている。
▲	その他専門店〔書籍〕（社員）	販売量の動き	・円安の影響による輸入商材の価格上昇が顕著なため、販売量に影響している。
▲	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・1人当たり販売量が少なくなっている。
▲	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	単価の動き	・物価上昇の勢いがあるため、購買をためらう客が多い。
▲	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・例年なら秋シーズンで客が入る時期だが、前年と比べて1割ほど少なく4400人程度で終わりそうである。暑い夏が景気の下支えになったが、秋になってから客足が伸び悩んでいる。
▲	旅行代理店（経営者）	単価の動き	・年末年始の予約は動きが悪く、1～3月の予約も少ない。特に、海外旅行の動きがとても悪い。国際線を利用した際も、首都圏の空港へアクセスするのは外国人が多く、アジア路線も外国人ばかりで日本人の姿はない。日本の航空会社が運航している便でも日本人ゲートは行列がなく、外国人ゲートは行列ができていた。国内のホテルもインパウンドの影響で値上がりしている。外国人と日本人で料金を分けてもらわないと、ますます旅行離れが進みそうである。
▲	タクシー運転手	お客様の様子	・円安や株価の動きから判断した。
▲	理美容室（経営者）	来客数の動き	・客が余り来ない。

	▲	その他サービス [介護サービス] (職員)	販売量の動き	・福祉用具レンタルの配送稼働率が夏頃から低迷している。猛暑の影響なのかは、秋以降の状況により判断する。
	▲	設計事務所 (職員)	お客様の様子	・客から景気の話は全く聞かない。
	▲	その他住宅 [住宅管理] (経営者)	お客様の様子	・公共事業の仕切り価格が数年前から上がっていない。物価高が進み建材費や人件費も上昇しているなかで、入札しても利益が残らない仕事は取りたくないため、適正価格の回復を期待する。
	×	スーパー (店長)	来客数の動き	・来客数が前年と比べて減少している。特に週末の減少率が高い。
	×	コンビニ (店長)	販売量の動き	・1人当たりの買上点数が減少している。米の値段が上がったインパクトが相当強く、節約志向が一層強くなっている。
	×	衣料品専門店 (店長)	販売量の動き	・暖冬により防寒衣料の販売が低迷している。本来なら寒さで防寒衣料の販売が上向く時期に暑いくらいの日々が続いているため、購入客はまばらである。農業関連の客からも苦言を聞く。販売額は前年比2～3割ダウンしている。
	×	衣料品専門店 (販売企画担当)	販売量の動き	・売上がかなり減った。客の購買力が下がっているとみられる。
	×	乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・全体的に動きが悪く、前月や3か月前の方が良かった。購買意欲が下がっており、今は悪くなっていると言わざるを得ない。
	×	美容室 (経営者)	お客様の様子	・今月もまだ暑さが続いたため出足が悪くなり、売上が減少した。
	×	住宅販売会社 (経営者)	単価の動き	・物価が上がって分譲住宅の購入に負担が掛かり、購入になかなか至らない。
	×	住宅販売会社 (従業員)	それ以外	・仕事がなく、廃業する業者が増えてきた。
企業 動向 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	化学工業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・半導体向けクリーン容器の需要が好調である。
	○	電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・ここ数か月間は受注量、生産量共に横ばいであったが、今月は10%近く生産量が増えている。
	○	金融業 (従業員)	それ以外	・身の回りの様子では、物価上昇は続いているものの、ある程度の需要は確保できているようにみえる。衆議院選挙の結果についても、経済への影響は今のところ少ない様子である。
	○	その他非製造業 [ソフト開発] (経営者)	受注量や販売量の動き	・生産は全体的には良くないが、再び円安傾向になってきたこともあり、設備投資については拡大傾向が強い。中国生産の原価も高くなり国内移転の意欲が強くなり、当社への引き合いがますますある。
	□	食料品製造業 (社員)	受注量や販売量の動き	・飲食店向け、個人客向け共に、売上と販売量には大きな変化はみられない。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業 (顧問)	受注量や販売量の動き	・受注量と販売量がここ3～4か月ほど前年割れとなっている。景気は3か月前と比べても悪い状況が続いており、余り変わらない。
	□	化学工業 (総務秘書)	それ以外	・ようやく猛暑が収まって短い秋を満喫しようと外出する人が多く、道路や店は混雑している。年末まで土曜の予約が取れない外食の人気店もある。
	□	金属製品製造業 (従業員)	受注量や販売量の動き	・受注量の確保がやや懸念される。物件が少なく、同業者間での話題も同様である。
	□	一般機械器具製造業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・北米では自動車、半導体関連設備への投資の動きが余り活発ではない。米国大統領選挙の結果がどうなるか見守っているという声もある。
	□	電気機械器具製造業 (企画担当)	受注量や販売量の動き	・受注状況に関して大きな動きはない。全体としては計画から大きく外れることなく推移している。
	□	輸送用機械器具製造業 (品質管理担当)	取引先の様子	・受注量は微増しているが、賃金になかなか反映されない。
	□	建設業 (役員)	受注量や販売量の動き	・前月と同様で、来場者数、成約数共に良くも悪くもない状況であった。

□	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・9月後半は荷主の中間決算の関係で一時的に荷物量が増えたが前半は暇だった。10月に入ってからもそれほど忙しくはない。今年4月以降には2024年問題による車両不足が懸念されたが、今のところ深刻な状況でなく拍子抜けしている。
□	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・物価上昇に伴い、個人消費が伸びず物量は鈍化傾向にある。
□	輸送業（エリア担当）	取引先の様子	・取引先の飲料メーカーによると、これから冬場でクールド商品からホット商品に変わっていくため製造量を調整しているが、余り寒くならないという予想が出ており、例年より製造を抑えているようで、消費にも影響してくる。
□	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・理由は分からないが、取扱品の配送需要が減っている。一方、ケータリング弁当の配送需要は増えている。
□	通信業（法人営業担当）	競争相手の様子	・通信サービスは低廉化し続けている。設備維持コスト増加や物価高の影響を受けて、消費者向けサービスは価格上昇が続くが、オフィスユーザー向けのサービスは値下げ競争が激化している。通信市場の競争はなかなか勝敗が付かず、参入企業は体力を消耗している。
□	金融業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・競争入札の激化や特命随契工事の減少で受注価格が厳しくなり、人件費や材料費の上昇を従来どおりカバーできなくなっている。中小企業では、物価上昇に見合う給与が上げづらくなっている。
□	不動産業（経営者）	それ以外	・例年よりも雨の日は多いが、余り寒くないこともあり、外出や遠出をする人はやや増加傾向にある。今月の売上も前年を上回る状況となっている。
□	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・猛暑が長く続いたため、秋のイベントやそれに伴うチラシや折込等は前年と比べ単発的になり、受注量も減ってきている。
□	新聞販売店〔広告〕（店主）	取引先の様子	・取引先と話していても、積極的な提案や将来展望がみられない。
□	公認会計士	取引先の様子	・取引先の売上は、前年比では伸びているものの3か月前との比較では大きく変わっていない。為替相場の影響もあり外国人を対象としたサービス業の売上は上昇傾向にあるが、利益ベースでみると物価高や人件費コスト増加の影響もあり、大きくは変わっていない。
□	行政書士	受注量や販売量の動き	・以前は、朝早くから倉庫から貨物を積み込み次の仕事を入れていたが、現在は積み込み時間が決められてきているため、次の仕事を取ることができなくなった。収入減につながると嘆くドライバーがいる。
□	会計事務所（職員）	それ以外	・日帰りバスツアーや宿泊ツアーは前と比べて何割か割高になっているが、キャンセル待ちになっている日もある。観劇チケットもすぐに完売になる演目があり、少し余裕が出てきたようにみえる。こうした傾向は少し前から続いており、特に変わりはない。
▲	食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・消費マインドの低下や買い控えの影響が、少しずつ顕著になっている。
▲	窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・前年から急激に注文が増えた客からの受注が急にストップしたため、生産計画が狂ってしまった。今月は残業も全くなくなってしまった。
▲	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年この時期は販売量が通常の月より1割以上アップするが、今年は他の月より5%ほど悪化している。
▲	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・報道されているような景況感よりも、足元は悪く感じる。
▲	輸送用機械器具製造業（管理担当）	それ以外	・値上げが止まらない一方、給料は上がらず、悪化するばかりである。
▲	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・流通業の消費財、製造業の生産財共に売上は前年比5%超の減少となっている。値上げを一部認められているので、物量としてはこれ以上の落ち込みとみられる。

	▲	通信業（法人営業担当）	それ以外	・光回線の受注は相変わらず減少傾向である。当業界は電気、ガス、水道を含め様々な業種の仕事とつながりがあるが、当地域では、住宅着工数が特に目立って少なくなっている。
	▲	通信業（総務担当）	それ以外	・生活必需品の物価高騰が続くため、生活費に余裕がなくなっている。休日に余暇を過ごすための支出ができない家庭が多く、明るい兆しがみられない。
	▲	金融業（従業員）	取引先の様子	・国民の間には不安要素が多い。新しい内閣の発足後も円安や物価上昇など経済的に不安を抱えている国民が非常に多いという声を周りによく聞いている。
	×	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量の減少につれて価格も従来より低くなっている。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客先の店舗での設備投資は、新紙幣発行に対応した機器・ソフトの交換に投資費用を回しているため、それ以外の設備投資がかなり少ない状態になっている。
雇用関連	◎	—	—	—
(東海)	○	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・企業の人手不足感が強まり、募集条件を緩和するなどの動きが出てきたことに伴い、求職者にも応募の動きが徐々に出てきている。
	□	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・夏季はイベントがあった影響で良かったが、今月は特にイベントがないにもかかわらず同じように良かった。
	□	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・求人数は企業によってばらつきがあるが、求職者数は減少傾向が続いている。
	□	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・依然として物価高騰に実質賃金の上昇が追い付いていない。
	□	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・派遣での求職者数は前年と比較しても大きく変わらない。長期派遣労働者において派遣先への直接雇用や無期雇用化が進み、動きが落ち着いている。
	□	アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・大手自動車メーカーの認証不正問題で一部車種の製造ラインがストップしている。11月の製造再開予定が12月に延期され、部品加工工場の派遣労働者と派遣元企業においては、大きな問題が続く。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	それ以外	・10月単月でみると衆議院選挙の影響で売上の的にはプラスだったが、それ以外に景気が上向く材料は見当たらない。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・周辺企業を取り巻く採用難や原価高は変わらない。衆議院選挙による経済停滞があった。地方の人口減少と中小企業の採用難はすぐには改善しない。
	□	職業安定所（所長）	求人数の動き	・3か月前と比較し求人数が増加しており人手不足感は継続して強いものの、一部業種においては求人募集を控える動きもある。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・産業別の新規求人数は、前月同様に医療福祉が大幅増加、製造業、運輸業は微増、建設業を始め卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業等については軒並み減少という状況であり、結果的に全体の新規求人倍率は、0.21ポイントの上昇となった。
	□	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・様々な業種で、コスト上昇分の価格転嫁が進まず企業収益を圧迫しているという声を聞く。一方、宿泊業、飲食業や小売業など対面のサービス業では、インバウンドや観光需要の増加など明るい兆しもみられた。
	□	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・人手不足で求人は微増傾向だが、最低賃金引上げの対応や原材料価格高騰の影響で利益が出ないと企業の声がある。
	□	民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・経済環境も踏まえて採用を積極的にする企業と控える企業が2極化している。先々を見据えた人材の獲得競争は、より激化している。
	▲	人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・最低賃金の改定と同時に物価の上昇ラッシュが行われている。社会保険料の引上げ等で実質賃金は低下した感覚である。中小企業においても、人件費高騰と仕入商品値上げのダブルパンチを受けている状況である。

▲	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・有効求職者数が前年同月比で14か月増加している。高齢者を中心に就職等が進まず、求職者が滞留している。
▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人の動きには足踏みがみられる。
×	—	—	—